



# 原高同窓会会報

題字は前同窓会会長門馬直孝氏

平成 29 年 (2017 年)  
3 月 1 日 水曜日

発行所  
福島県立原町高等学校  
同窓会  
福島県南相馬市原町区西町 3-380  
電話 (0244) 23-6196  
印刷所 有限会社愛原印刷所



本日、福島県立原町高等学校六十九回卒業証書授与式が挙行されます。  
新たに会員となる百四十九名のご活躍を心からお祈りします。

うっし世の あらしにまけず  
いざともに 我ら励まん

## 祝 び 卒 業



福島復興の主役に  
同窓会長  
杉 昭重  
(三十二回卒)

百四十九名の第六十九回卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。皆さんの旅立ちに当たり一人一人の夢が実現するよう期待します。

私は二十二回卒業生で、昨年の卒業式に県教育長として出席させていただきました。前同窓会長渡辺成氏との出会いがあり、同窓会長を務めさせていただきましたことになりました。原町高校の後輩の皆さんのために自分のできることはなにかと考えておりましたが、この貴重な出会いが決定付きました。皆さんもこれから多くの人に出会います。その時々のお出合いを大切にしてください。皆さんの一生に



伝統を引き継いで  
校長  
佐川 尚史

同窓会の皆様には日頃より温かいご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。本日、第六十九回卒業生百四十九名が学び舎を巣立ちます。今後は、同窓会の一員として母校を応援してくれるものと期待しております。

さて、私は、本年度からお世話になっておりますが、さすがに原高と感ずることが幾つかありました。その一つは、学校行事が非常に活発で、生徒が主体となっており、取り組みが楽しみ、大きな盛り上がりを見せるところで

大きな影響を与える出会いがあるかもしれません。特に、高校時代の友人は生涯続く友人です。皆さんの宝ですので大切にしてください。

さて、東日本大震災と原発事故から六年、福島県は県民の努力もあり、復興・創生への道を歩んでおりますが、まだまだ道半ばであります。福島の未来を担うのは皆さんのような若い人たちです。皆さんにはそれぞれ、福島復興の主役になっていただきたい。そのためには皆さんが今抱えている将来の夢を一生懸命努力して実現することです。皆さんが描いた夢ならどんな夢でもいいのです。皆さんの先輩には復興庁福島復興局長として、あるいは県議会議員政治家として復興の最前線で活躍している人や経済界として今井正人選手のように走ることでの復興に寄与しているスポーツ界さらに皆さんの夢が実現できるようサポートしてくれている原町高校の先生方など、多くの夢を実現しようとしている先輩がいます。この先輩方に学んで皆さんの夢を実現してください。

の方々とお話をさせていただき、皆さんの励ましのお言葉を頂戴しました。遠く離れているからこそかもしれないが、母校や故郷への思いが強く感じられ、改めて、私たちはいかに多くの先輩方の思いに支えられているのか、伝統の重みというものを再認識しました。そして、その思いに答えるべく、より良い学校づくりに励む決意を新たにしました。次第です。間もなく大震災から六年。今度復興の途上ですが、原高においては、着実に新しい歩みを進めています。原高進学希望者の数も増え、定員を満了する状況になってきました。また、生徒の頑張りや学習や部活の面でも充実が図られてきていることを実感しています。下級生も卒業生がつかないでくれたよ伝統をこれからも引き継いでいってくださるものと信じています。



平成24年から使用した小高商業高校仮設校舎(左)と本校南校舎(右)。今年4月から小高商業高校は、小高工業高校と統合し小高区に戻り小高産業技術高校となります。

平成29年度 原町高等学校同窓会総会  
 8月5日(土) 総会17:00~/懇親会18:00~/  
 原ノ町駅前『ロイヤルホテル丸屋』  
 多数のご参加お待ちしております。参加を希望される方は、  
 下記までご連絡下さい。  
 原町高等学校同窓会事務局 TEL.0244-23-6196/FAX.0244-23-7909  
 harakou.dousoukai@gmail.com